

国際経済環境研究分野 International Environmental Economics

貿易と環境

International Trade and Environment

教授 佐竹 正夫
Professor
Masao Satake



Our department studies the environmental issues in relation to international economy such as eco-dumping, international trade of recyclable products, global public goods and free trade system, fair trade, pollution heaven hypothesis and so on. My recent research is to analyze the effects of exports of recyclable products like pet bottles on the recycling system. I have been conducting this study with other researchers under the government sponsorship for three years.

学会・研究会活動

環境経済・政策学会(9月26日~27日千葉大学)企画セッション「経済変動を考慮した国際資源循環の国内対応と国際対応」(国立環境研究所寺園敦氏主催)及び日本国際経済学会全国大会(10月17日~18日中央大学)自由論題において、「循環資源の輸出とリサイクル制度—PETボトルのリサイクルを事例として」と題して報告を行った。国際経済同学会では機関誌『国際経済』の編集責任者となり、9月に『国際経済』60号を発行した。研究科内では、昨年に続いて環境フロンティアの講演会と研究会を主催した。研究会はほぼ2カ月に1回のペースで、合計6回の研究会を開催した。(詳細は環境フロンティア国際プログラムの講演会・研究会の記事を参照)

研究成果

科研の報告書の論文「循環資源の輸出とリサイクル制度—PETボトルのリサイクルを事例として」(菊地徹氏、山重芳子氏と共著)の他に論文「地球温暖化防止と自由貿易体制」が『世界経済評論』(世界経済研究協会)53巻10号(2009年11・12月号)を発表した。他に同誌に書評『国際経済の新構図』(池間誠編)を掲載した。松村は『国際経済』(日本国際経済学会)への投稿を行った。論文タイトルは「貿易パターンの変化を通じた経済厚生へのインフラストラクチャーの影響」であり、審査結果は修正後掲載可であった。現在、修正を行っており、間もなく再提出する予定である。2009年3月に前期課程を修了した菊池愛美は「途上国における環境クズネット曲線の実証可能性」(林山泰久氏、中嶋一憲氏と共著)と題する論文を『地球環境研究論文集』[土木学会]に投稿、受理された。

科研費プロジェクト

平成19年度からの3年間の科研費の萌芽研究「循環資源の貿易とリサイクル・システム」(課題番号18653021)が3月で終了したので、6月に報告書を刊行した。研究分担者5名、研究協力者13名による10篇の研究論文と国内外の廃プラスチック工場視察メモを含む(150頁)。研究科内及び外部の研究者、関係者に約150部送付した。なお、9月には共同研究者と一緒に神戸の研豪株式会社及び北九州市のエコタウンにある西日本ペットボトルリサイクル株式会社を訪問、聴き取りを行った。



At the Ishinomaki Mill of Nippon Paper Industries Company 1



研究員
松村 玲
Researcher
Rei Matsumura

教育活動

教育活動としては、地域環境・社会システム学コースの他に、ヒューマン・セキュリティ連携国際プログラム、高度環境政策・技術マネジメント人材養成ユニット及び環境フロンティア国際プログラムの教育に関わっている。特に環境フロンティア国際プログラムでは教育だけでなく運営にも関わっている。3月と9月に前期課程の学生が各1名修了した。2010年1月現在では、指導する学生は8名(後期課程6名、前期課程2名)いる。内訳は一般2名、

社会人3名、留学生3名である。前期課程の2名の学生は環境フロンティアの入学生で、それぞれ2010年3月にエコ・プラクティスの研修に出かける予定である。その準備も兼ねて、日本製紙石巻工場を研究室で見学した。講義は、環境経済論、環境科学概論、地域環境・社会システム学概論、地域環境学特論、国際環境経済学(環境フロンティア)、自然と環境(全学教育、自然論)をそれぞれ分担で担当した。



At the Ishinomaki Mill of Nippon Paper Industries Company 2